

=日本コミュニティ心理学会 2005 年度ワークショップ=

「コミュニティ・ワークの方法」(開催のお知らせ)

標記ワークショップを本学会の3委員会の協働により下記の通り開催致します。
皆様 奮ってご参加ください。

~~~~~  
コミュニティの現場<sup>フィールド</sup>において支援や開発に携わる者が、身につけておきたい視点や技法を、ワークショップ形式(一部講義形式を含む)で学びます。カナダのコミュニティワーカーの訓練に使われるテキストをもとに実践するため、それぞれの参加者の活動分野で応用できる内容です。

コミュニティのポピュレーション(ここでは、主に地域住民)とともに、コミュニティを活性化していくためのファシリテーションの技法であり、場づくりに始まって、ビジョンやニーズを明確にしたり、活動内容を検討したり、ソフトを創っていきつたりするエクササイズのなかから、実際にいくつかを体験していただきます。現場に出ていって、社会を変革したいと考える研究者や実践家に必須の内容です。

~~~~~  
2005 年 10 月 20 日

研究委員会・研修委員会・国際交流委員会

記

1. 日時：平成 17 年 12 月 17 日(土)10：00～16：30(最後の 30 分は質疑応答を予定)
2. 場所：東京国際フォーラム G 405 室
東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号(TEL03-5221-9000)
JR 有楽町駅または東京駅から徒歩数分でアクセス良好
3. 講師：William Lee 先生(カナダ)
マクマスター大学準教授、トロント大学大学院非常勤講師
カナダの大学院で最もよく採用されているコミュニティ・ワークの教科書の執筆者。
今回は「子ども未来財団助成研究 子育て支援研修実施のためのガイドライン策定に関する調査研究」の一環で来日されます。
4. 参加者数：30 名(コミュニティ心理学会の会員であること)
5. 参加費：3000 円
6. テキスト代(日本語訳)：未定ですが、3500～5000 円をご準備ください
7. 申し込み方法：
**同封の「ワークショップ申込書」に必要事項を記入して、11 月 30 日(水)までに
企画担当の北島(産業医大)宛 ご送付ください。**

Fax の場合；093-693-2024

郵送の場合；〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学産業保健学部人間科学 北島宛

* なお、参加者数に限りがありますので、予定数に達し次第 募集停止といたします。早めにお申し込みください。その他、お問い合わせは、TEL 093-691-7231 まで。

ワークショップ企画担当 産業医科大学 北島茂樹 宛

(ファックス番号 093-693-2024)

(E メールアドレス kitajima@health.uoeh-u.ac.jp)

「ワークショップ参加申込書」

12月17日(土)開催の日本コミュニティ心理学会主催ワークショップ「コミュニティ・ワークの方法」について、参加を申し込みます。

参加者ご氏名： _____

◆ご所属： _____

◆連絡先(所属先または自宅住所)：

〒 _____

◆ 連絡手段(ファックス番号または電子メールアドレス)

交通アクセス

(JR 線)

有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

(地下鉄)

有楽町線：有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡

日比谷線：銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分、千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分

丸ノ内線：銀座駅より徒歩5分、銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分、三田線：日比谷駅より徒歩5分

